

七月の手技材料

目白幼稚園 和田 實

梅雨も晴れて、愈々本格の夏となりました。此暑さには何としても、水いたづらが一番です。盥に水を汲んで庭に持ちだし、色々と實驗させると、よい遊びになります。

コップの水 コップに水を入れ、書學紙を適宜の大きさに切つて、之を蓋にしてコップを倒まなしに見る。水は完全に、こぼれない。此實驗は子供にも樂々と云來ますから、一人々々に行らせて見ると面白い。次に

ミルク罐 ミルクの明き罐をよく掃除して尤も初めにミルクを出すときに罐の一方の左右に小さい穴を開け（錐で徑一分位の穴）片方の穴から、

ミルクを出して仕舞ひ、其後を熱湯で、充分にゆすいで置く。之を水の中に、手を以て押し込むと二つの穴の一方から水が罐の中に入り、一方の穴から、空氣が小さい泡となつて繼續的に來る。暫く見て居る中に、水が罐に充つると止む。そこで罐を引き出して拇指で一つの穴を塞ぎながら倒さし持つて拇指を上げて塞いで居る穴を開けたりしながら、庭の木、花壇の花、さては鉢のものなどに水をやつて歩く。水が無くなつたら、又水の中に入れて水を入れる。水が充ちたら又そこらに撒いて歩く。拇指一つの加減で水の出を自由に加減する。誠に面白い遊びです。

ゴムまりの水ビストル ゴム毬の空氣の抜けたのを利用して細筆の軸を二寸位に切つて、之をゴム毬の何處か穴の開いたところか、又はわざと穴を造つて差し込み其周圍を少しつまんで軸に細糸か針金で縛り付けて水のもれぬ様にする。斯くして水中に押し込んでから手で握つて毬の中の空氣を抜くと、水は毬のふくらむと共に毬の中に入る。すつかり、ふくらんだところで毬を出して手で握ると水は軸の一端から迸しり出ます。是で水ビストルが出来ました。是は子供自身造る譯には行きませんが、用意して置いて遊びの倦きた頃に出してやると、大悦びです。

ゴム輪動力の船 丸木船の底に推進機のプロペラを取り付けゴム輪を動力として取り付ける。是は飛行器へ取り付けると同様の仕方にする。そこで、プロペラを適宜廻はして、ゴムを好い加減にねぢつて、手を放さず水に入れ、そこで、手を

放すとゴムの彈力の戻る爲めにプロペラが廻はつて船は前進します。是も子供には出来ませんから豫め用意するか、子供の見て居る所で造つて遣ると宜しい。

笹舟の競争 笹舟を造つて水にうかせる。一どきは大勢では行り悪いから、一度に二三人づゝうかせて、各幼兒に團扇を持たせて、各々、自分の舟をあふがせる。早く池の彼岸に達したのを勝とする。二三人づゝ交互に行りながら見物する。面白く遊びます。笹舟の代りに板を舟の形に切り、小さい帆を上げたのを使ふことが出来れば一層面白く遊べます。尙帆の色か舟の色を三色位に別に別けて置くと遊ぶに都合宜しい。

噴水の實驗 バインアップルの明き罐を利用して其底に細ゴム管を通す。其仕方はゴム管の一端に筆の軸の一寸ばかりに切つたのを差し込み、之を其まゝ罐の底の穴に差す。そして、ゴム管の一

端には、更に細い筆軸の二寸位にしたのを差して噴水口を造る。斯様に用意が出来たら、之を一人の子供の両手に持たせる。片方の手に鑷を持つたら片方の手には噴水口を持たせる。そこで、始めは左右の手を水平の位置に捧げさせて、鑷の中に入水を入れる。水が一杯になつたところで、徐々に一方の噴水口を上に向けたまゝ少し下に下げると同時に片方の鑷の方を上上げる。そこで、水は噴水口から勢よく出る。暫く眺めてから、左右の手を同じ高さにするに連れて噴水は止む。左右の手の高さを違へて、前の様にすると噴水する。色々と實驗する中に噴水口が水源より低い時におのみ噴水することがわかる。交り々に持たせては水を入れて遣る。

虹吹き 霧吹きに水を充たして用意し、子供は太陽を背にして立たせ、其面前に霧を吹く（少し高く）、スルト、美しい虹が現はれます。子供にも

能く見える。何度も々々もして見せる。大きい子供には實驗させて見ても宜しい。

下りよ上れよ 浮沈子の事です。硝子の圓筒があれば申分ありません、無れば一升瓶びんの明いたのでも宜しい。先づ、水を一杯に入れて、浮沈子うしんしを浮かせ、ゴムのシートで口を蓋ひ、周りを細紐で密封する。子供の手でも、樂々と浮沈子うしんしを下させることが出来ます。浮沈子は色々ある方が面白いですから、豫め工夫して四つ五つ造つて置くことが必要です。小さな硝子鑷びんを倒さにしても其中へ入れ残す空氣の量さへ、適當に加減すれば、即座に浮沈子うしんしになれます。ピンポンの玉の割れたのを利用して、小さい人形を吊して、落下傘の人形を造つても面白い。又、玉子の一方に小さい穴を開けて中身を出して、此殻を利用して面白い。何にしても浮沈子の重さは、やつと、浮いて居る程度にしないと、子供の手の手力で、浮沈子

せることが困難になりますから、此邊の加減が厄介ですが、是さへ出来れば、後は何でもありません。

以上の外、サイホン式の「水出し」の色々な實驗のことは前々號に書きましたから、茲には略します。時には疊一帖敷位の廣さの水槽か、小さい池に、和金（金魚で鯛の形のもの）を數十疋放して、之を小さい網で、子供にすくはせる。すくつたものには金魚をあげると云へば、子供は夢中になつて、金魚を追ひ廻はします。結局は別に用意したブッキリ罐などに一疋づゝ入れて子供の家土産とするのですが、始めから之をあかさないうで、子供にすくはせると、暫くは、夢中になつて遊びます。小さい子供などには、鹽の中に土鱒を數疋放して、手で追ひ廻はさせても宜しいです。尤も、之はあまり永くして居ると土鱒が參りますから、好い加減の所で止めさせないと、残酷な遊びにな

ります。水いたづらは此位にして置いて、何か製作方面を少し考へることにしませう。

懷中時計 圖畫紙へ圓形を畫いて渡し、之を適宜指導して時計の時刻表に作り上げる。次に、細長い圖畫紙に針の圖を黒く描いて置いたのを渡し、切り抜かせ、序に時計も切り抜かせ、時計の中心に針を二枚重ねて止める。止める方法は、紙でも、糸でも宜しい。之に、龍頭の處に紐を付けさせて出來上る。出來上つたら適當な時刻に針を動かして遊んだり、胸に掛けて家へ歸らす。二時になつたから「お歸りだ」などと云つて遊ぶ。

日和傘 圖畫紙の中央に徑四寸位の圓を描いて渡し、之を傘にする積りでも何でも書かす。出來たら切り抜かせ、一ヶ所、圓の中心まで切れ目を入れて、此切れ目を三分程重ね合はせて糊付ける。と傘の形（即ち漏斗形）になります。次に、傘の中央の處に穴を開けてやつて、之にマッチの一本

を通す。薬の付いた方を上にして、是で傘が出来上りました。可愛らしい日和傘です。

海軍大将の帽子 新聞紙で大きな三角形の袋を作らず。子供の頭に充分、かぶれる様に、そして之を三枚位重ねて、ふちのところへ糊付して三枚を一つにしてかぶれる様にする。次に其ふちのところへ、巾一寸位の色紙を貼る。組織を二三枚並べて貼つても宜しい。次に、三角の山に沿ふて飾り毛の代りに紙を細くしたものを貼る。菓子の中に詰まつて居る、彼の細い紙を丹念に貼り付けるのも好いと思ひます。次に、兩側には打ち抜き貼紙材料を(花の類が適當)子供の自由に貼らす。之で出来上りです。子供は悦んで被つて遊びます。

勳章 金鷄勳章を輪廓とつて渡しお手本に倣つて塗らせる。次に切り抜かせる。安全ピンで胸に付けさす。同じ様に他の勳章をも二つ三つ造へて一所に胸に掛けさす。多くする程、悦ぶ。

かんかん帽 麥藁帽子のことです。先づ、三つの部分を適當にはかつて切り抜き置き、子供には

唯、貼り上げるだけを行らせる。子供の被ぶれる位の大きさにして、黒い紙を二寸位巾にしたのをリボンとして貼り付ける。之で出来上りです。材料は畫學紙が適當です。此貼り方は後に立體的の紙細工をする時の豫備練習として適當ですから、其積りで行らせる。

氷水屋遊び コップに氷を盛つた繪や、皿にアイスクリームを盛つた繪、コップにサイダーの入つた繪等數々と色々な繪を造へて置き(勿論、輪廓だけ)子供に塗らせて、切り抜かせる。別に五錢と十錢の白銅貨を切り抜かせて用意が出来る。子供を氷屋とお客さんとに分けて氷屋遊びをします。好い時分に交代して遊ばせる。

郵便局遊び 前と同様に、はかき、切手、金、等色々用意するものを子供に造らせる。出来上つた所で、郵便局員と客とを別けて遊ばせ、又交代して遊ばす。之は常識養成にもなるのですから、成る可く實際的にする様に、併し子供の興味の乗る様に指導して遣る。勿論、配達まで行らせるのが宜しい。子供は悦んで遊びます。